CASBEE®熊本《新築》【 性能表示 】

■ 建物概要

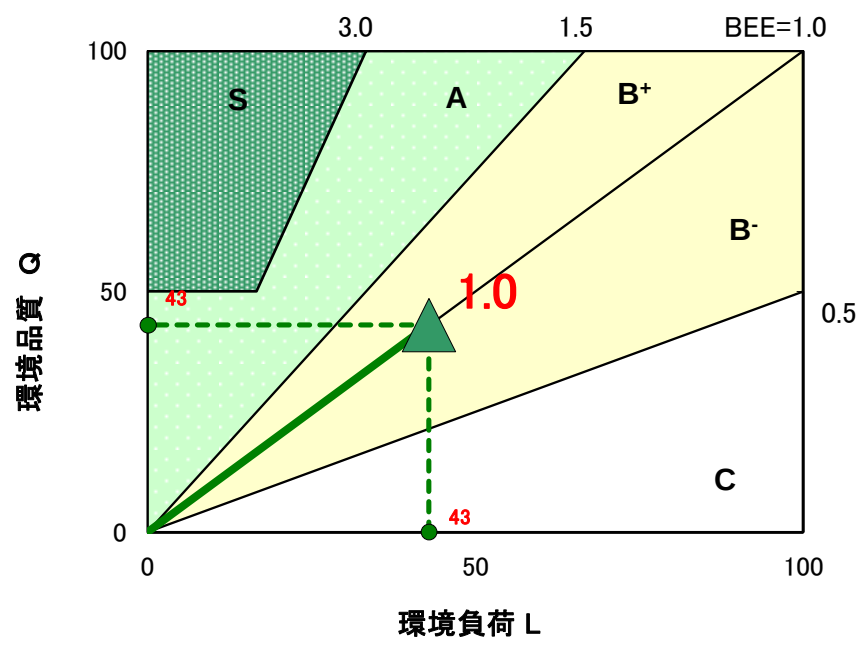
建物名称	(仮称)上熊本1丁目ﾏﾝｼｮﾝ新築工事	階数	地上10F
建設地	熊本市西区上熊本1丁目397-2,397-	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0 人
気候区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月　予定	評価の実施日	2018年12月10日
敷地面積	977 ㎡	作成者	蔵原
建築面積	309 ㎡	確認日	2018年12月10日
延床面積	2,661 ㎡	確認者	上村

■ 外観

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

★★★☆☆



BEE = 1.0

■BEE(環境効率) = Q(環境品質) / L(環境負荷)

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	―
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	―
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	―
C	★	劣る	0.5未満	―

■ライフサイクルCO_2 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO_2排出性能(ランク表示)

☆☆

排出率
88%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

評価点
76

	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	80.2
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	70.0
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	70.0
【重点事項4】 循環型社会の実現	79.5

■熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

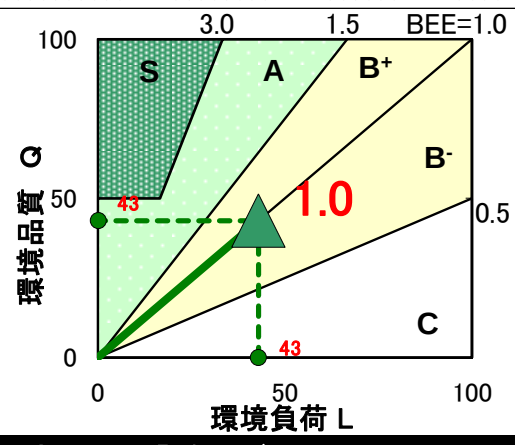
建物名称	(仮称)上熊本1丁目ﾏﾝｼｮﾝ新築工事	階数	地上10F
建設地	熊本市西区上熊本1丁目397-2,397-	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月　予定	評価の実施日	2018年12月10日
敷地面積	977 ㎡	作成者	蔵原
建築面積	309 ㎡	確認日	2018年12月10日
延床面積	2,661 ㎡	確認者	上村

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.0 ★★★☆☆

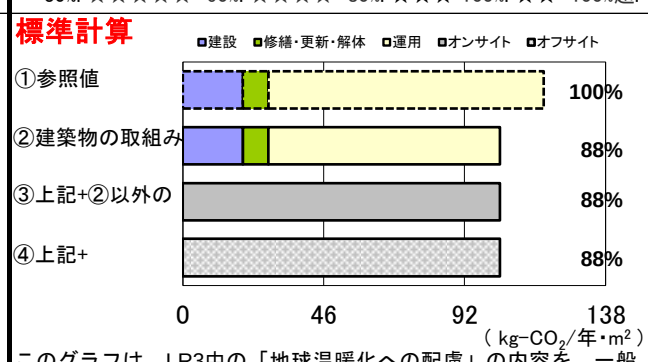
S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

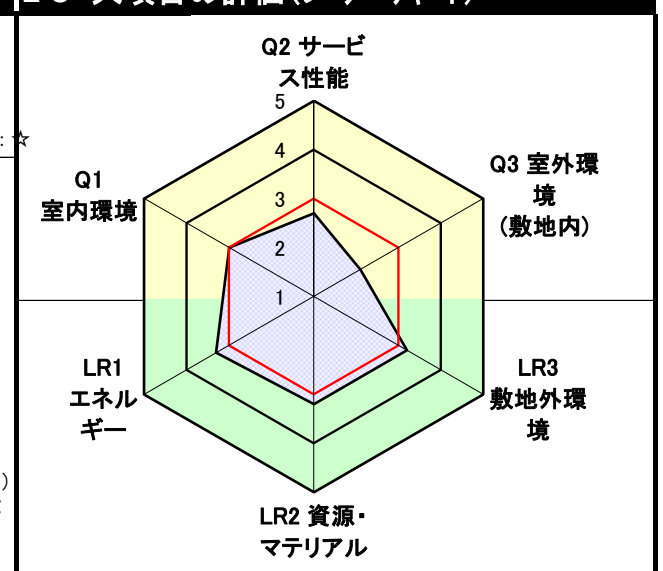
☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

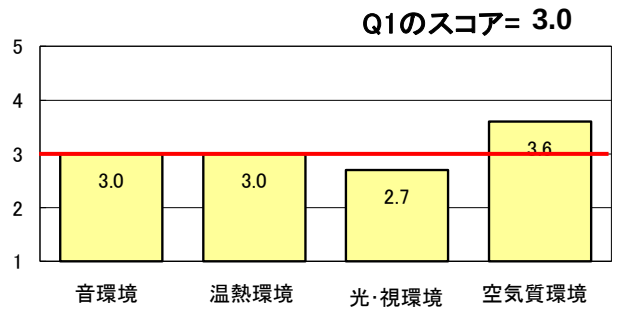
2-3 大項目の評価(ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ)



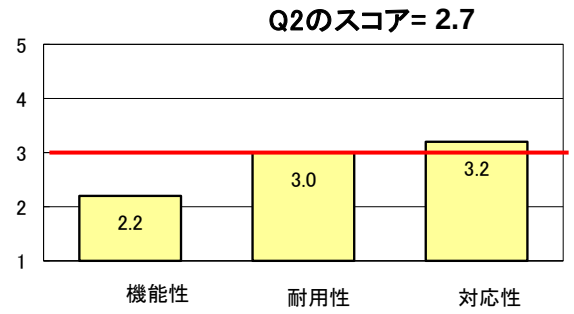
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.7

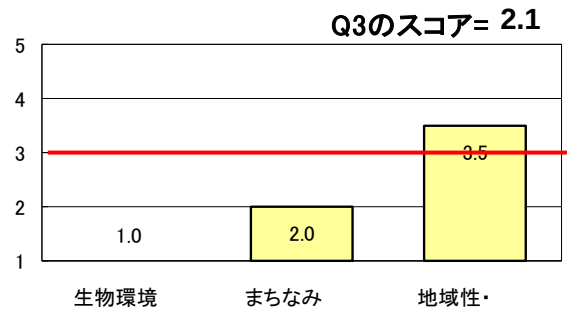
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.0



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.7

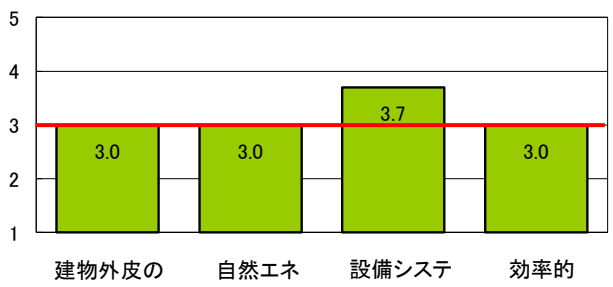


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.1

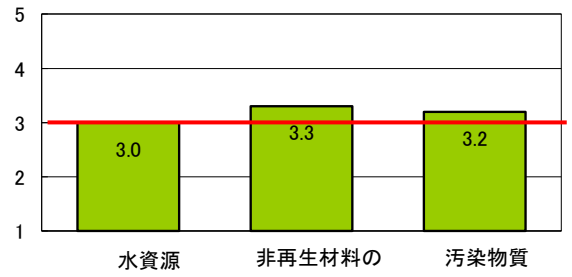


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.2

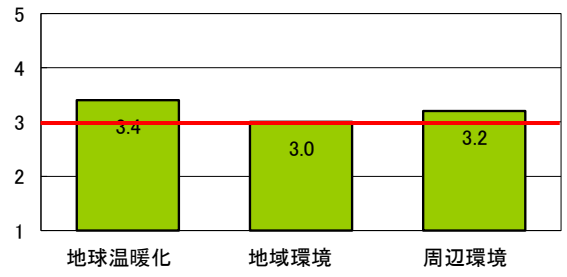
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.3



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.2



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.2



3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価

評価点 = 76

重点事項1：温室効果ガス排出量削減の推進

評価点 = 80.2

重点事項2：安全安心で暮らしやすい社会の実現

評価点 =70.0

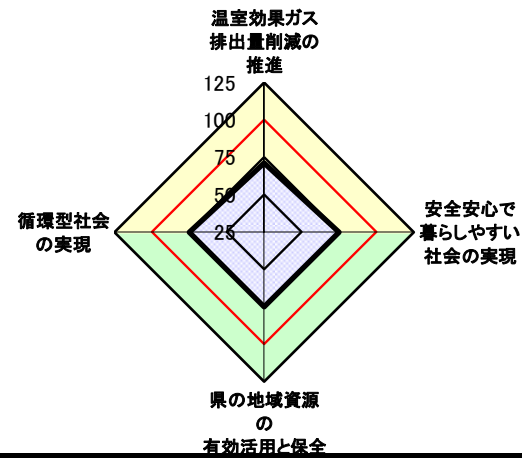
重点事項3：県の地域資源の有効活用と保全

評価点 = 70.0

重点事項4：循環型社会の実現

評価点 =79.5

重点事項の評価(レーダーチャート)



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本《新築》【 配慮事項 】

4 設計上の配慮事項

総合

周辺環境を配慮した外観デザインとした。

Q1 室内環境

居室の窓をできるだけ大きくし、入居者の快適性を配慮した。
使用建材はF☆☆☆☆製品を採用とし、汚染被害の防止に努めた。

Q2 サービス性能

設備配管は比較的高耐久性材料を使用。
将来の更新を想定し、全室壁天井はﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽを採用した。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地内にはできるだけ緑地ｽﾍﾟｰｽを設けた。

LR1 エネルギー

高性能断熱、ｻｯｼの複層ｶﾞﾗｽを採用した。

LR2 資源・マテリアル

ﾘｻｲｸﾙ資材を取入れ、環境の保全に努めた。

LR3 敷地外環境

周辺の交通に影響を及ぼさないよう導入路、駐車スペースの配置に配慮した

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称	*（仮称）上熊本1丁目ﾏﾝｼｮﾝ新築工事*

■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)　　■使用評価マニュアル：CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	76
重点事項				評価点	重点事項重み係数	評価配点
重点項目（配慮項目）		スコア	重み係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				80.2	0.40	32.08
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.7	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				70	0.20	14.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				70	0.20	14.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				79.5	0.20	15.90
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.6	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点　＝　（各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数）の総和

※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項（①～④の項目）

評価点　＝　（各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数）の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20 ： スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数